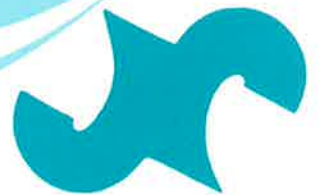


# ともしえ

No. 65



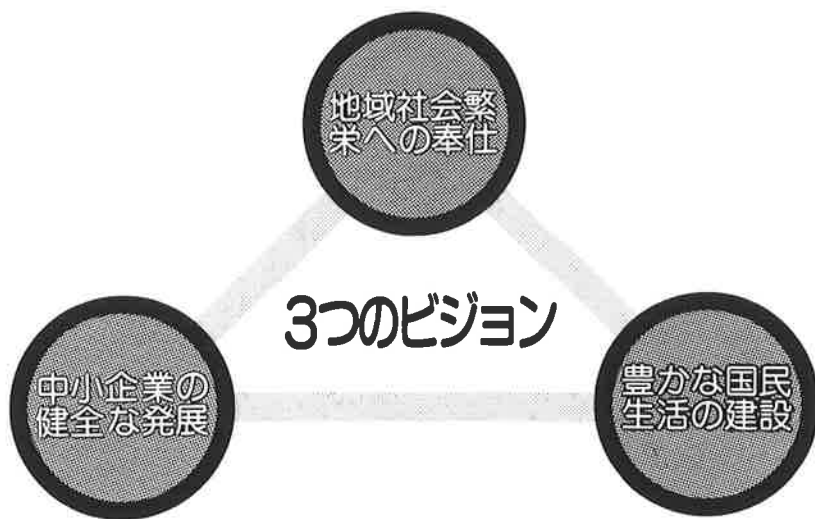
■函館商工会議所報■

1986 6月号

豊かさを

地域に築く

商工会議所



はこしんは豊かな暮らしと  
確かな未来の実現に  
お手伝いいたします。

 **はこしん**  
函館信用金庫

本部 函館市豊川町7番19号 TEL22-1241代

本店	函館市豊川町15番20号	TEL22-1247代	亀田支店	函館市亀田本町56番4号	TEL42-3820代
松風町支店	函館市松風町11番15号	TEL23-6221代	中道支店	函館市中道1丁目24番12号	TEL51-1711代
ばんだい支店	函館市宮前町14番15号	TEL41-6236代	上磯支店	上磯郡上磯町飯生2丁目4番24号	TEL73-2151代
五稜郭支店	函館市本町30番24号	TEL52-0511代	えさん支店	亀田郡恵山町字中浜115番の4	TEL84-2111代
弁天支店	函館市弁天町13番11号	TEL26-3646代	七飯支店	亀田郡七飯町字本町392番8	TEL65-2501代
千代台支店	函館市千代台町12番22号	TEL51-5238代	木古内支店	上磯郡木古内町字本町53番1	TEL木古内 2-3121代
湯川支店	函館市湯川町2丁目18番7号	TEL57-1492代	知内支店	上磯郡知内町字重内13番地の11	TEL知内 5-5611代
花園支店	函館市日吉町1丁目27番3号	TEL53-5521代			

●ともしえ・65号目次●

視 点	1
会議所の動き	2
地域の景気	6
調査レポート	8
アドバイスコーナー	10
寄稿文	12
Q & A	14
情報コーナー	16
新入会員紹介	17
ライタータイム	18
ご案内	20



● 視 点

去る三月二十日の函館市長の辞任ということもあり、今年は五月十一日の市長及び市議会議員の補欠選挙、そして六月二十二日の道議会議員補欠選挙、最後は七月六日の衆議院、参議院の選挙と全く息のつく間もない選挙日程です。

一方、こう立て続けに選挙がありますと、その費用も大変です。何故なら、この費用はすべて国民の税金で賄われているからです。これから新市長のもとで、行財政再建への途をまず進まなければならない函館市にとっては、非常に痛い出費のことと思います。

しかし、何はともあれ、新しい函館市長がきまりました。経済界出身のこの若く元気のよい新市長に期待しましょう。

新しいお酒はできました。将来に十分期待のもてるお酒です。ただ、新しいお酒は十分時間をかけて、熟成させなければ本当においしいお酒とはなりません。

熟成させるためには新しい皮袋が必要です。古い皮袋では裂けてしまうかもしれません。

函館市においては、一日も早く新しい執行体制を確立し、組織にエネルギーを与え、活性化することが必要と考えられます。また、頂点に立つ指導者にとっては、前進するための絶え間ない努力とともに休養も必要です。

特にこの頂点に立つ指導者の方の休養の問題については、これを邪魔することのないよう気づばりに十分留意したいものです。



# 会 議 所 の 動 き

## 早期実現

### 北海道新幹線・縦貫自動車道を

#### 道南商工会議所連絡協に提案

道南商工会議所連絡協議会（浦河、苫小牧、室蘭、登別、伊達、森、函館の各商工会議所で組織）は六月四日午後四時三十分から本所会議室で各商工会議所全員と北海道商工会議所連合会高橋常務理事が出席し開催しました。

来る七月十一日、北見市において開催される第三十六回全道商工会議所大会に提案する議案を、各商工会議所が事前に持ち寄り、協議するため開催したものです。本所から提出された提案事項は次の通りになっております。

#### ◎北海道新幹線の建設促進

現在、青函トンネル工事は予定どおり進捗し、在来線の開通は昭和六十三年春項の見通しですが、道民生活の向上はもとより、本道の産業経済振興発の展ために大きな役割を果たす北海

道新幹線の必要性は論をまたないところですが、よって次の点につき強く要望します。

北海道新幹線（青森～札幌）

の早期着工を図ること。

なお、東北新幹線が青森まで延長されたときには函館までの同時乗り入れを図ること。

#### ◎北海道縦貫・横断自動車道の建設促進について

道南地域は昭和六十三年に青函トンネルに在来線の供用開始が予定されており、一方、このトンネル活用についてもカートレイン方式の採用が検討されつつあり、この計画が実現をみた場合、高速自動車道と連結させることが、必須要件となります。現在基本計画路線である函館―長万部間を、整備計画路線に昇格決定の上、函館側からの早

期着工についても強く要望します。

#### ◎函館空港の整備促進について

当地域は寒冷地のため、大型機の通年運航の一層の安全をはかるためには、現、滑走路の五百呎延長が是非必要であり、第五次空港整備計画策定に際しては、これが実現と国際化に対応するため、C・I・Q機能の設置も要望します。

#### ◎国立函館大学の設置について

国立大学の誘致は、全般的視野から全道期成会を通じ運動を展開してきたが、これが早期実現方を強く要望します。

#### ◎北海道東北開発公庫の機能の拡大強化について

必要資金枠を確保するとともに特別金利制度の拡充及び出融資対象分野の拡大等により機能の拡充強化を図り、地域の実情に即した機能の効率的運営を強く要望します。

以上

# 道新幹線の早期函館乗り入れへ

## 中央陳情さらに

### アセス急げ・鉄建公団強調

道南期成会総会

北海道新幹線建設促進道南地方期成会（会長・本所川田会頭）の総会が五月二十六日、ホテルアカシヤで開催しました。

渡島、松山管内の各市町村代表ら約三十人が出席し、東北新幹線の青森延長と同時に函館乗り入れを実現させるため、さらに中央への陳情活動を続ける今年度事業計画などを決めました。

総会では、川田会長が整備新幹線計画を取り巻く最近の情勢に触れ「道新幹線は六十年度予算でようやく五千円の調査費がつき、上磯付近のボーリング調査が始まった。今年度も五千万円配分される見通しだが、今後、青森、岩手両県と手をとりながら要請活動を積極的に推進していきたい」とあいさつがありました。

さらに、来賓として出席した鉄

建公団札幌支社高橋工事部長と同公団青函建設局北村局長より、青函トンネル工事の進捗状況などについて「来年秋には試運転六、十三年春には開業ができる。当面は在来線が通ることになっているが、東北新幹線の盛岡以北が来年度着工になるとすれば、六十八年度には青森まで開通する。これに合せて函館乗り入れをさせるために

は、この一、二年の間に用地買収や環境アセスメントを終える必要がある」との説明がありました。このあと議事に入り、政府関係機関への陳情要請活動など今年度事業計画と役員留任を満場一致で了承しました。

一方、北海道縦貫自動車道建設促進道南地方期成会（会長・木戸浦函館市長）の総会も同じ会場で開かれ、今年一月、長万部―虻田間（四十九キロ）が整備計画区間に昇格したことが報告され、今後は長万部―函館間（九十二キロ）の整備計画区間への昇格を建設省など関係機関に引き続き陳情していくことを決めました。

## 函館圏テクノポリス ぜひ進出を

### 本州から外資系含む視察団四十三社

東京方面の製造業、先端産業を中心とする大規模視察団一行が六月四日来函しました。

この視察会は、地域振興のための企業誘致を目的に北海道が計画

センターの関係者二十人で、空路函館入りし、同空港会議室でテクノポリス函館計画の概要について説明を受けました。

受け入れの函館圏企業誘致推進協議会会長の木戸浦市長から「テクノ指定も三年目を迎え、官民一体となって推進に努力しています。各企業の地方進出の際には、ぜひ函館圏に」とあいさつがありました。

つづいてテクノ函館を紹介するビデオ上映の後、青函トンネル開業の見通しや、誘致企業に対する補助金など各種優遇制度などの説明がありました。

この後、一行は函館市鈴蘭丘町の臨空工業団地の建設予定用地、七飯町の日立北海セミコンダクタ工場、上磯工業団地などを精力的に視察しました。

参加者から函館圏進出のメリットや、人材確保の問題などについて熱心に質問していました。

また、十一日には、外資系企業、米、英など九カ国二十六社、二十六人が来函し、前記同様コースを視察しました。

# フランス 大英帝国 艦隊儀仗兵の儀礼砲

## 会場の観客おどろきの声

第17回五稜郭祭

幕末動乱期、明治維新の最後の決戦となった箱館戦争(己巳の役)を再現する第十七回箱館五稜郭祭が五月十一日の碑前祭で幕を開け、十七・十八日の本祭で無事幕を閉じました。

今年の本祭は、天候的には雲が



五稜郭城 開城セレモニーシーン

低く垂れ込め、時おり小雨の降る肌寒いあいにくの天気でしたが、パレードが五稜郭の商店街にさしかかったあたりでは、沿道が市民・観光客で埋めつくされ、また色とりどりの紙吹雪が舞い散るなど祭りのムードは最高潮に達しました。

# 木村麗子さんら十人

## 生命共済促進功績者表彰

函館商工会議所生命共済事業推進功績者表彰式が、六月五日本所会議室で開催されました。

今回の受賞者は、昭和六十年上期・下期に実施しましたキャンペーンに於いて優秀な成績をおさめた各受託保険会社外務員(後記)に高野副会頭から感謝状と記念品

同パレードは、五稜郭公園まで繰り広げられ、公園到着後、園内舞台上で開城セレモニーが厳粛な内にも盛大に取り行われましたが、特に圧巻だったのが今年新装したミニエール銃二十丁を使いフランス及び大英帝国東印度洋艦隊のそれぞれの儀仗兵等により儀礼砲の儀式であり、その轟音と迫力には会場を埋めつくした観客からは思わずおどろきの声もれるなど、一大叙情詩に大喝采を送り、祭りを大いにたんのうしていました。

が贈られました。

本制度は、安い掛金で高額の保障、しかも加入年齢に関係なく掛金は一律で、死亡・高度障害保険災害保険金プラス死亡保険金ともより障害給付金、入院給付金とすぐれた内容をもった制度であり未加入会員の皆様の加入をお願い

します。

- 千代田生命保険(相)函館支社
- 松倉勝子、酒井美智子
- 日本団体生命保険(株)函館支社
- 神繁 信、篠崎ゆり子
- 第一生命保険(相)函館支社
- 山村敏子、長野道子
- 三井生命保険(相)函館支社
- 木村麗子、増川 實
- 日本生命保険(相)函館支社
- 工藤ヒサ子、福田美智子



表彰を受ける三井生命木村麗子さん



# 事務局日誌

5月

◇正副会頭会議

- 13日 第13回正副会頭会議
- 19日 第14回正副会頭会議

◇会 議

- 2日 婦人会役員会
- 6日 日本商工連盟函館支部地区連盟総会
- 〃 本所創立90周年記念事業推進実行委員会打ち合わせ
- 12日 小企業等経営改善資金審査会
- 〃 本所90周年記念事業実行委員会
- 23日 小企業等経営改善融資制度に係る幹事商工会議所会議
- 27日 小企業等経営改善資金審査会
- 29日 振興委員連絡会議

◇諸 会 議

- 1日 自民党道連政策々定地方会議
- 9日 函館観光協会常任理事会
- 12日 函館特産食品工業協組通常総会・懇親会
- 〃 ㈱ハーバー・ビューホテル創立総会
- 13日 社団法人函館地方法人会第9回通常総会
- 15日 函館圏企業誘致推進協議会
- 16日 日本関税協会函館支部昭和61年度第1回理事会・幹事会
- 〃 五稜郭祭前夜祭
- 19日 昭和61年度中小企業景況調査担当者会議
- 〃 函館駅前地区市街地再開発組合レセプション
- 23日 函館都心商店街振興組合昭和61年度通常総会・懇親会
- 26日 北海道新幹線建設促進道南地方期成会昭和61年度総会
- 〃 昭和61年度北海道縦貫自動車道建設促進道

南地方期成会総会

- 27日 函館港まつり協賛会企画委員会
- 〃 (協)函館専門店会第34期通常総会・役員会
- 〃 五稜郭商店街振興組合昭和61年度通常総会
- 〃 函館機械金属造船工業協組第10回通常総会・懇親会
- 28日 函館圏企業誘致推進協議会総会
- 29日 昭和61年度第1回北海道立函館美術館運営協力会役員会・総会
- 〃 中華人民共和国札幌駐在総領事陸建元領事帰国、楊榮平副領事着任歓送迎会
- 30日 青函トンネル開通記念博覧会準備委員会幹事会
- 〃 第44回国民体育大会昭和62年度全国高等学校総合体育大会函館市実行委員会設立発起人会
- 〃 (財)函館テクノポリス技術振興協会昭和61年度第1回理事会

◇陳情・要望

- 2日 新高速交通体系確立の決議に基づく陳情
- 10日 北海道新幹線の建設促進に基づく陳情

◇講習・催物

- 2・4金曜日 法律相談室
- 2・4水曜日 経営相談室
- 3水曜日 発明相談室
- 4火曜日 労働相談室
- 8・15日 記帳講習会
- 14日 本所創立90周年記念式典・会員懇親会
- 23日 P O P 広告実践講習会

◇刊 行 物

- 10日 ミニ経済情報はこたて刊行
- 27日 所報「ともえ」№64(5月号)発行

◇相談・診断

金融244 税務50 経理51 経営160  
労働153 取引0 その他12 計670

◇貸 室

本館14 別館2

新しい感覚・卓越した先進のシステムを通して  
美しい印刷物をお届けしています



株式会社 **第一印刷**

TEL (0138) ☎ **23-0101**・(040) 函館市末広町1番8号

水産物向けの荷動きが低調なため、生産は抑制気味。

(乳加工品)

市乳の売れ行きが引き続き不調なほか、需要期入りの主力練乳・粉乳の引き合いも天候不順等から今一步盛り上がり欠けるため、生産水準の引き上げテンポは緩慢。

(漁 網)

イカ漁の解禁期接近や沿岸スケトウ漁向けの更新需要増から刺網の引き合いは順調ながら、北洋漁業の規制強化等を映じて流し網、底引網の受注が減少しているため、減産体制を継続。

(その他の製造業)

合板は、住宅・公共関連の盛業期入りから荷動きが上向いているほか、大手合板メーカーによる減産効果を映じて市況も底入れしつつあるため、生産水準を引き上げ。

またセメント、生コンの出荷・生産は、公共工事が順調な発注をみているため漸次上向き。

(建設関連)

管内主要官公庁の新年度公共工事発注状況は、政府の前倒し発注姿勢を受けて例年を上回る順調な出足をみせているほか、民間住宅着工もこのところの金利低下等を映じて幾分上向きつつある模様。

(農 業)

農作業はほぼ前年並みの進捗状況ながら、農産物の育成はこのところの天候不順から幾分遅れをみている模様。

(漁 業)

近海マス漁が低調な漁模様のまま終漁色を強めているほか、噴火湾毛ガニ漁も、資源保護の観点から昨年同様1か月間(6月中心)の限定操業となる模様。

(小売商況等)

4月中の市内大型小売店(10か店)の売り上げは、新入学用品等が比較的順調な動きを示したものの、月央以降の天候不順や一部百貨店筋の臨時休業等を映じて、衣料品、身回り品、雑貨を中心に伸

び悩み、月中では小幅ながら前年割れ(前年比△1.2%)となった。

5月入り後も衣料品中心に幾分不冴えな展開となっている模様。

家電販売では電子レンジ、VTR、大型カラーテレビ等を中心に順調な動きを続けているほか、自動車販売(含む軽自動車)も、軽自動車への人気が根強いことや前年が自賠責保険料引き上げ前の駆け込みの反動落ちから低水準であったこと等を映じて順伸(4月中管内自動車新車販売台数前年比⊕6.4%)。

この間5月連休時の管内観光・レジャー動向は、主要行楽地とも好天に恵まれかなりの賑わいをみせ、宿泊施設の利用状況も好調裡に推移。

3. 金融事情(4月中)

○管内金融機関の実質預金は、前月末一時的に滞留をみた期末回収資金の剝落等から一般法人預金が大幅に減少したほか、金融機関預金、公金預金も落ち込んだため、月中284億円の減少(前年298億円減)となった。

一方、貸し出しは卸・小売、建設業、地方公共団体等を中心に期末決済資金の返済が嵩んだため、月中213億円の減少(前年320億円減)。

この間、管内銀行の貸出約定平均金利は、長短プライムレート引き下げに伴う利下げ交渉進展を映じて月中△0.053%と引き続き低下(前月△0.094%)。

○銀行券は、前月末増発をみた期末決済資金や国鉄退職金を中心に月初順調な還流を示したため、前年(発行超11億円)とは様変りの月中20億円の還収超となった。

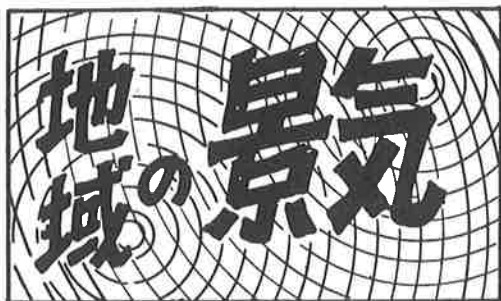
○財政収支は、公共事業関係費および国鉄の支払を中心に月中79億円の払超となったものの、払超幅は国鉄退職金の支払減(過半を3月に前倒し支給)が響き前年(払超187億円)比大幅縮小。

以 上



4月

昭和61年5月29日発表



日本銀行函館支店

1. 概況

○最近の管内経済動向をみると、観光・レジャーが賑わうなど個人消費が堅調に推移し、公共工事も活発化しつつあるものの、生産活動が一進一退の域を出ないほか、企業倒産もこのところ幾分増加するなど、全体としては明暗区々の状況となっている。すなわち、企業の生産活動面では、飼料・魚油、漁網が需要の低迷から減産体制を継続しているほか、造船でも受注環境の悪化を映じて操業度を幾分引き下げ、また盛業期入りの段ボール、乳加工品では需要に今一つ盛り上がりを欠くため生産を抑制気味。反面、製缶機械、化学肥料、電子部品では根強い末端実需を背景に増産体制を継続、合板、セメント・生コンでも公共工事の前倒し発注方針を映じて荷動き・生産が上向き歩調にあり、合板機械でも堅調な更新需要を背景に操業度を引き上げている。この間、個人消費面では、大型小売店の売り上げは最近の天候不順の影響もあって伸び悩んでいるものの、自動車・家電販売は堅調な動きを続けており、観光・レジャーも5月連休を中心にかなりの賑わい振りを示した模様。

金融面では、需資動意薄のなか期末決済資金の反動落ちが嵩み、4月中貸し出しは大幅減少。管内銀行の貸し出し約定平均金利は引き続きかなりの低下。

2. 主要業種別動向

(造船)

修繕船の受注は北洋船、官庁船を中心に比較的順調ながら、新造船部門では厳しい受注環境にあるため建造ペースをスローダウンさせている。

(電子部品)

このところの半導体メーカー各社の量産・拡販を映じて需給地合が引き緩み気味で、市況も幾分軟化しているものの、パソコン、大型電算機等の末端実需は依然根強く、荷動きが順調なため、増産体制を維持。

(珍味加工)

消費地間屋筋では目先梅雨期を控え当用買い姿勢を強めているものの、春の行楽需要の盛り上がりから手元在庫が少な目となっているため、高操業を継続。

(化学)

飼料・魚油では、円高等による採算悪化から魚油輸出の新規商談目などがたたないうえ、飼料部門もユーザーの当用買い姿勢の強まりにより引き合い、市況が弱含みに推移し、在庫水準が幾分高目となっているため、減産体制を継続。

化学肥料では、農家筋の一部に7月からの新肥料年度における価格下方改訂を期待して買い控えの動きが散見されるものの、本格的な農作業期とあって荷動きが好調を続けているため、フル生産体制を維持。

(機械)

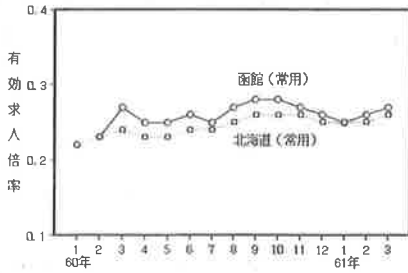
製缶機械では、食料品メーカーからの引き合いが順調なうえ医療機器メーカーからの大口スポット受注もあって、受注残高が高水準に達しているため、時間外操業をさらに拡大。

合板機械では、輸出成約は依然皆無の状況ながら、国内大手合板メーカーからの合理化・省力化機種の受注が増加しているため、時間外操業等により高操業を継続。

(段ボール)

北洋船団からの受注は昨年並みを維持したが、天候不順による春野菜の育成遅れや日本海マス漁の不漁等を映じ青果・

図一 雇用情勢



5. 金融情勢

函館管内金融機関(都市及び地方銀行、相互銀行、信用金庫)の61年3月末現在の預金残高は7,892億8,100万円(前年同月比1.8%増)、これに対して貸出総残高は5,608億4,500万円(同2.7%増)で預貸率は71.1%と前年同月に比べて0.6ポイントの上昇。預金のうち定期性預金は6,002億1,600万円(同5.1%増)で預金残高に占めるウエイトは76.0%と前年同月より2.3ポイント上昇している。また貸出金のうち設備資金は1,361億2,600万円(同3.9%増)で、貸出金に占めるウエイトは24.3%で前年同月より0.3ポイント上昇している。

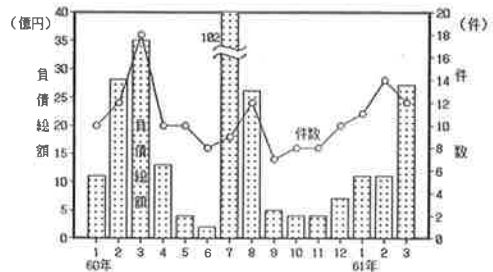
一方、年度間増加額は、預金が508億800万円の前年度より51億2,900万円の増加、貸出金が462億2,700万円と同92億3,000万円増加している。

6. 企業倒産

60年度の函館管内企業倒産(負債額1,000万円以上)は119件で前年度より46件減少して落ち着きを見せたが、60年7月に負債額100億円もの大型倒産が発生したため、負債総額では215億3,300万円の前年度より13億3,000万円、5.8%減少するにとどまった。

業種別では、製造業5件、7億5,000万円、建設業42件、38億7,200万円、卸売業11件、12億500万円、小売業33件、122億100万円、飲食業7件、5億8,400万円、その他20件、29億2,100万円。

図三 企業倒産



統計資料

函館市内第一種大規模小売店舗売上高(10店) 昭和61年4月

品目	売上高(千円)	対前月比(%)	対前年同月比(%)
衣料品	2,881,445	79.8	99.5
身回り品	509,167	81.5	96.5
雑貨	776,966	84.3	99.4
家庭用品	816,294	96.3	99.8
食料品	1,643,785	89.2	99.9
食堂・喫茶	185,757	82.3	98.3
サビ	68,588	89.9	90.6
その他	307,015	108.6	89.7
総計	7,189,017	85.3	98.8

※ 10店とは棒二森屋、丸井今井、さいか、和光、ハイショップホリタ、テーオー小笠原、長崎屋、イトーヨーカ堂、函館西武、ホリタショップパースプラザ湯の川店の各店をいう。

経済の窓

昭和60年度

函館地域の  
経済動向

昭和60年度函館地域経済動向は、公共工事が前年度実績を大幅に下回ったのに加え、住宅投資も低水準で推移、個人消費も所得の伸び悩みの中であって盛り上がり欠けた。

また、一部増勢に転じた民間設備投資や、農業豊作による波及効果も景気のけん引的役割を果たすまでにはいたっておらず、総じて停滞基調で推移している。

1. 公共事業発注状況

60年度の函館管内公共事業発注状況は、函館市の関連予算が大幅に縮小したことにより総体の発注額が624億9,300万円の前年度実績を4.7%、31億800万円下回った。

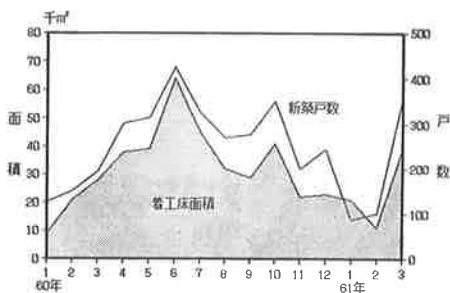
機関別にみると、函館開発建設部が300億4,000万円（前年度比6.5%増）、函館土木現業所が238億7,800万円（同4.2%増）、函館市が85億7,500万円（同40.9%減）。

2. 建築着工状況

60年度の函館市内建築着工状況は建築物床面積合計が404,105㎡で、前年度に比べ5.6%の減少、うち住宅部分床面積は287,301㎡で同0.2%減少している。

また住宅総戸数は3,883戸で同0.9%減少、

図一 建築着工状況



うち新築は3,240戸で同0.2%の減少、増改築が643戸、同4.0%の減少と低迷している。

新築住宅の内訳は、持ち家1,193戸、借家1,625戸、その他422戸。

3. 個人消費

①大型店売上高

60年度の函館市内第一種大型店売上高（ネットリ家具を除く）は、2年連続の農業豊作による波及効果や、各種催事等の店舗側の積極的な販売姿勢に、消費意欲の盛り上がり期待されたが、総額で883億3,010万円と前年度より5億4,026万円、0.6%の微増にとどまった。

品目別では、主力の衣料品が季節衣料を中心に堅調で、356億82万円と前年度より2.3%増加したが、もう一方の主力食料品は、中元、歳暮商戦に盛り上がり欠け213億5,367万円と同0.6%減少している。

②新車登録台数

60年度の函館管内新車登録台数は、実質所得の伸び悩みに加え、自賠責保険料の引き上げ、3年車検実施の2年目で買い替え需要の減少等から24,936台で前年度より127台、0.5%の微増と低調に推移。

車種別では、普通乗用車が16,740台で前年度より4.0%の減少、貨物・その他が2,028台で同3.8%の減少と低迷、軽自動車だけが引き続き好調で6,168台、同17.1%の増加となった。

4. 雇用情勢

60年度の函館職業安定所管内の雇用情勢は企業倒産の落ち着き等もあって月平均有効求職者数（常用）が前年度を5.1%下回る7,058人となったが、月平均有効求人数（常用）も1,834人と同2.5%減少したため、有効求人倍率は0.26倍と前年度を0.01ポイント上昇するにとどまり依然低水準。

一方、新規学卒者（61年3月高校卒）の就職状況は、求職者数3,037人（前年度比5.5%増）に対し、管内求人数が1,890人（同12.4%増）で管内求人倍率は0.62倍（前年度0.58倍）となった。

また、就職者全体に占める管外就職者の割合は46.5%（前年度44.7%）で管外への流出割合はさらに高くなっている。

# ヒント びんと

繁栄

## 商売繁盛のひけつ

### 販促の

### 3つの条件

アンタそれは違う

街路樹の緑は、さわやかさを感  
じさせる。

そこを通る人たちに、安らぎと  
落ちつきを与えてくれる。こうい  
う街は、気持ちがよい。人びとが  
沢山集まって来てくれるにちがひ  
ない。

だが待てよ、と少しばかり疑問  
が浮ぶ。

上野のアメ横には緑が無い。浅  
草にもない。それなのに人がいつ

ぱい集まる。

上野や浅草ばかりではない。札  
幌から福岡に至るまで、人の群が  
る地下街はいっぱいあるが、そこ  
には緑なんか一本もない。

保証金でも家賃でも、べら棒に  
高いその地下の街で、みんながバ  
ッチリやっているのだから、それ  
でも商品は売れているらしい。こ  
れは、どうやら考えどころらし  
い。

いや、実は不思議ではない。緑  
の無い方が理屈に合っているの  
だ。

落ちつきとは、気持の冷静な状  
態を指している。

冷静さは、物事を正しく判断さ  
せる。

いま、それを買うべき時かどう  
か、消費者は的確に判断する。ど  
れが買得で、どれが『おとり』の  
商品なのかがすぐ分る。だから目

玉が『スッ』と無くなる。売りたい、と思つた商品は辛棒強く座つて  
いる。

言いかたは、悪いかもされない  
が、消費者を落ちつかせてはダメ  
なんだ。競争のない世界なら、緑  
をいっぱい提供して、世の中の人  
々に精いっぱい奉仕したらよい。

オレンとは、売るだけが狙いじ  
ゃない、商売を通じて社会に奉仕  
するんだ、と考える人は、緑でも  
ブルーでも寒色素の色をいっぱい  
使えばよい。

しかし、残念ながらタタメ論  
だけでは、生きてゆけないのも世  
中である。欺きなさいというの  
ではないが、演出とは、ホンネに  
訴えなければ効果が薄いのであ  
る。

消費者を落ちつかせては、販売  
を促すことにはならない。消費者  
には、興奮してもらわなければな  
らない。極端をいうならばディス  
コの会場のように、熱気と興奮の  
渦(うず)の中に、巻き込まなけ  
ればならないのである。

#### 暖色の意義

できるだけ寒色を避けたい、と

こころが通う おくりもの。

## 《まるい》の商品券



丸井今井

函館

水曜日休日  
電話(0138)53-1151



申し上げた。しかし、誤解されても困るので付け加えるが、寒色が絶対にいけないというのではない。

紫（むらさき）は高貴、上品、優婉、神秘などのイメージを与えてくれるし、いまいった緑は、健全、平和、若さ等々をも感じさせてくれる。これらは、それぞれの狙いに合せて上手に使えば豊かな色彩として生きるのである。

で、次に興奮を呼ぶのは、どんな色かということになるが、いうまでもなく、それは暖色系のものである。

黄色 強烈、快活、光明、希望  
 ピンク 女性的、甘美、柔軟、ほのかなしあわせ

オレンジ 陽気、元氣、積極性  
 赤色 情熱、過激、革命的

さあ、これで説明を要すまい。赤、黄、ピンク、オレンジ、その組合せでヒラヒラさせたらよい。スペインの闘牛士は、けっして青い旗は振らない。荒くれた、その牛の目の前で、赤い旗を振る。牛が、最高に興奮する。

革命家はどうか。これまた赤だ。

真赤な旗の林立、そこでは闘志がカッカッと燃え上るのだ。

のぼりよし、小旗よし、それらの色彩を惜しむことなく使いたいということである。

動きのつくり出し

次に、『動き』について述べるが、動きについては、二つに分けて考えることにしたい。その一つは、自然の動きとして、もう一つは、作った動きとしておくこ

とにする。

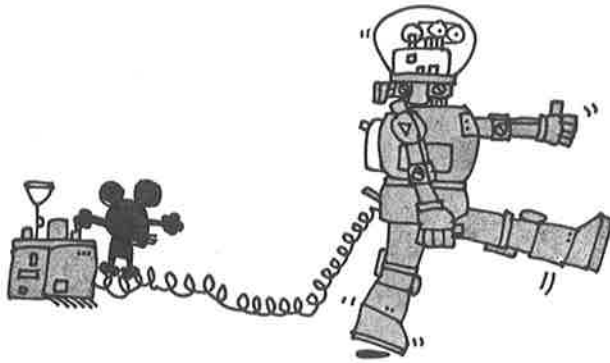
ここでいう自然の動きとは、人がゾロゾロ通る。店の中が、沢山のお客さまで活気を呈している、などがそれで、作った動きとは、作動的に与えた動きのことと解釈していただきたい。

いまいったように、表の通りを沢山の人が通ってくれば、動きはひとりでに生れるが、通る人もチラホラとなれば、やはり、人為的に動きを作らなければならぬ。

人為的に作る動きにもいろいろあるが、それを機械的にやるなら、回転式のものや点滅式のもの、手取り早い。

- 回転式の広告塔
  - 回転する風車、水車
  - 点滅するイルミネーション
- 等がそれである。

とにかく、動くものには人の目に付きやすい。床屋さんの看板ではないが、より多くの人に目を注いでもらう、関心を寄せてもらうとすれば、小さなもので結構、店頭到店内に一つは配置しておきたいものである。



- かがねさきいか
- 函館のしいか
- ゲソロール
- 函館かがね
- するめそうめん



# イセオ食品株式会社

代表取締役社長 石尾 広道

〒042 函館市湯浜町1番17号 TEL 0138(53)0102  
 FAX 0138(55)5536

取引銀行 富士銀行函館支店



# サービス業には「明」

## 60年代のマーケティングを

### 円高下の経営戦略

横浜国立大学経営学部講師

大 嶋 隆 雄

#### 円高でも経済摩擦は解消しない

円相場が七年五ヵ月ぶりに最高値を更新、日本経済は新しい局面に入った。

日本経済新聞社の総合経済データバンクNEEDは一ドル＝百七十五円を前提にすると六十一年度の実質経済成長率は一九％にまで減速する。百五十円ではゼロ成長に陥ると予測している。

百七十円経済の定着は日本企業にとって初の事態である。上場メーカーの一割近くが赤字ないし利益ゼロに転落、代表的な大企業も赤字に陥る。経常利益の大幅なマイナスをしいられるのは自動車、電気機器、鉄鋼など主力業種のいずれも有力企業である。

一方、こうした円高メリットを享受できる企業もある。円高は基本的にサービス産業にとっては「明」、製造業にとっては「暗」となる。円高による生産減少はほとんどの業種でみられ、輸出依存度の高い業種ほど減少率が大きくなる。

直接的な円高のデフレ効果だけでなく、円建ての輸入コストが低下して、東南アジア諸国などから価格弾力性の高い製品輸入がふえる。これによって国内価格が圧迫をうける。

一方、サービス業は消費者物価が低位で安定化し、実質民間消費が増加することもあって、日本経済はサービス産業への重点を高めざるをえなくなる。

もちろん製造業でも円高のメリットを受ける企業もあり、食品、化学などを中心に全体の半分以上の企業がプラスの影響を受ける。

政府は内需を振興し、経済成長率の大幅な低下を避けるため

公定歩合を引き下げたり、画期的な公共投資の追加を行ったりするであろう。しかしそうした従来と同じような内需振興政策では日本の経常黒字はなかなか減らないというのがいろいろな経済モデルのシミュレーション結果として示されている。

つまり、円高は貿易摩擦を解消しないまま、国内にデフレ効果を浸透させる結果になりやすい。

### 効果的な輸入自由化政策

円・ドルを中心とする替為調整、原油価格の下落という環境の中で、日本の経済成長を高め、国際経済摩擦を緩和するためには、従来の内需振興政策に加えて、「財」と「サービス」の輸入の拡大、第三次産業を含む広範かつ大規模な輸入自由化政策の併用が効果的な役割を演ずるとされている。

日本のような高率貯蓄国では投資の低滞が起こった場合、輸出超過傾向が構造的に生じやすい。したがって公共投資をふやしてバランスを改善するという内需拡大策が必要であった。

しかしオイルショックを契機に民間活力の減退によって成長率は大幅に減速した。その結果、輸入の構造的な不振で経常黒字が累積した。とすれば、この経常黒字を国内に還元して内需の活性化を図るほかわない。

つまり円高・原油安によるメリットを金利安につなげ、産業界および国民に減税と同じ効果を与えることが必要になる。

次に外国製品に対する輸入制限を思い切って緩和すること。

欧米諸国からの自由化要望は日本の消費者の声を受けとめて、輸入品自由化による消費者の生活水準の向上につとめることが必要になる。

### コミュニケーション・マーケティング戦略

企業のマーケティングというのは、日本で戦後アメリカから輸入された言葉である。

企業が生産する製品を消費者に届けるまでの生産・流通に関する業務をマーケティングといい、その時代に応ずる戦略的拠点を、昭和六十年代についてはコミュニケーション・マーケティングと私は考えている。

アメリカの社会学者ダニエル・ベル教授もこれから「脱工業社会」の戦略を「人間間相互のゲーム」(game between persons)と考える。人間がお互いに交渉し、説得し、管理し、育成し、双方満足し合う技術である。これは私のいうコミュニケーション・マーケティングにほかならない。

二十一世紀を目前にした昭和六十年代の企業戦略は、貿易自由化戦略である。世界のGNP構成の多くは日本の先端技術(ハイテク)に裏づけられたものであると同時に、人間の高密度接触(ハイタッチ)に関係するものである。とくに後者における新製品、手法の開発は日本人の寄与にまっとうところが多い。